

『30年後のワタシの商店街』

組合員・会員（20歳～49歳）の意識調査

～平成30年度 商店街活性化推進調査・研究事業～

平成31年2月
東京都商店街振興組合連合会

はじめに

これからの商店街を担っていく(であろう)20代～40代の組合員・会員の方々に、「30年後のワタシの商店街」というテーマでアンケートに回答いただきました。

「ハード」～商店街そのもの～30年後もある？ ない？

「ソフト」～商店街の活動～30年後も機能している？ していない？

という、シンプルな問いかけです。

集計数値をご覧ください。ご感想はいかがでしょう？

意外なのか、納得感があるのか、期待が持てるのか、それとも自責の念でしょうか？

これからの商店街運営、人材育成のご参考にしていただければ幸いです。

平成30年度 商店街活性化推進調査・研究事業委員会委員（敬称略）

委員長 齊藤得彌 板橋区 商店街大学4期生

副委員長 大塚智弘 世田谷区 商店街大学4期生

委員 山中浩司 板橋区 商店街大学14期生

同 飯田利加 中央区 商店街大学15期生

同 内田詠子 墨田区 商店街大学16期生

【事務局】東京都商店街振興組合連合会 指導課

webmaster@toshinren.or.jp 電話 03-3542-0231

もくじ

はじめに	1
調査回答者	3
調査回答者の商店街環境	4
商店街への思い	5
商店街の30年後への期待	6
商店街の30年後 <ソフト>〔機能〕	7
商店街の30年後 <ソフト>〔活動〕	8
商店街の30年後 <ソフト>〔運営体制〕	9
商店街の30年後 <ソフト>〔非機能〕	10
商店街の30年後 <ハード>〔存続〕	11
商店街の30年後 <ハード>〔存続〕(立地別)	12
商店街の30年後 <ハード>〔存続〕(属性別)	13
商店街の30年後 <ハード>〔業種〕	14
商店街の30年後 <ハード>〔消滅〕	15
30年後の自分の商店街の姿	16

調査回答者

<調査対象者> 東京都内の商店街組合員会員店舗・事務所勤務の20歳以上49歳以下

<調査回答者数> 266名

<調査期間> 2018年8月～11月

<調査方法> webアンケート(回答者219名)+アンケート用紙留置法(回答者47名)

<調査結果グラフ表示について>

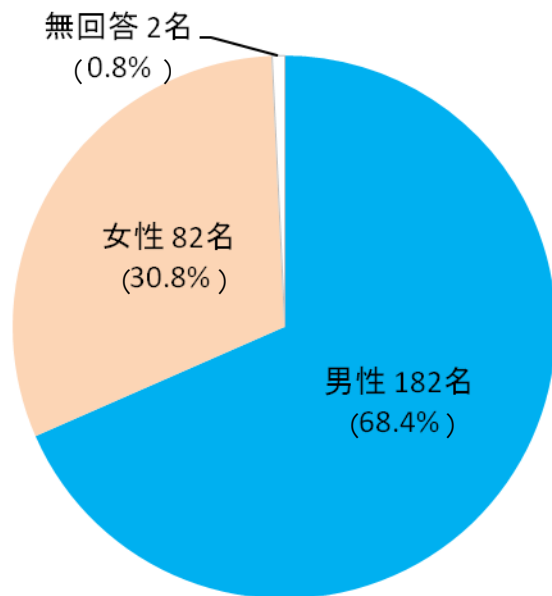
回答者数・・・【対象】無記載は 266名

条件設定があり回答者が限られる場合には【対象】を表示

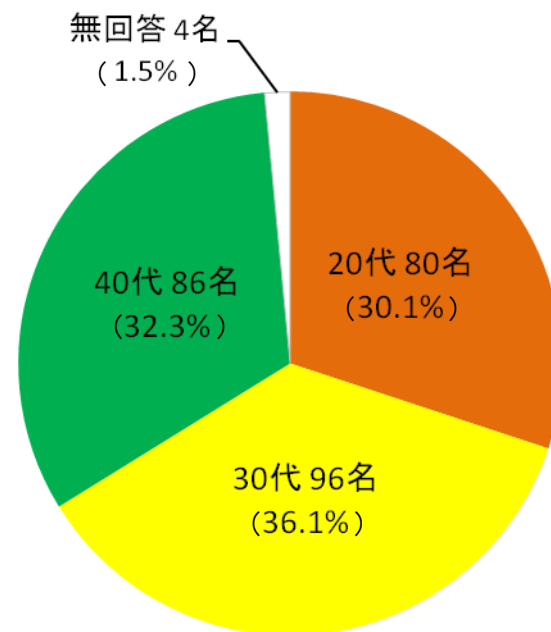
円グラフ・・・単純回答(回答は1つのみ)

帯グラフ・・・複数回答(回答はいくつでも)

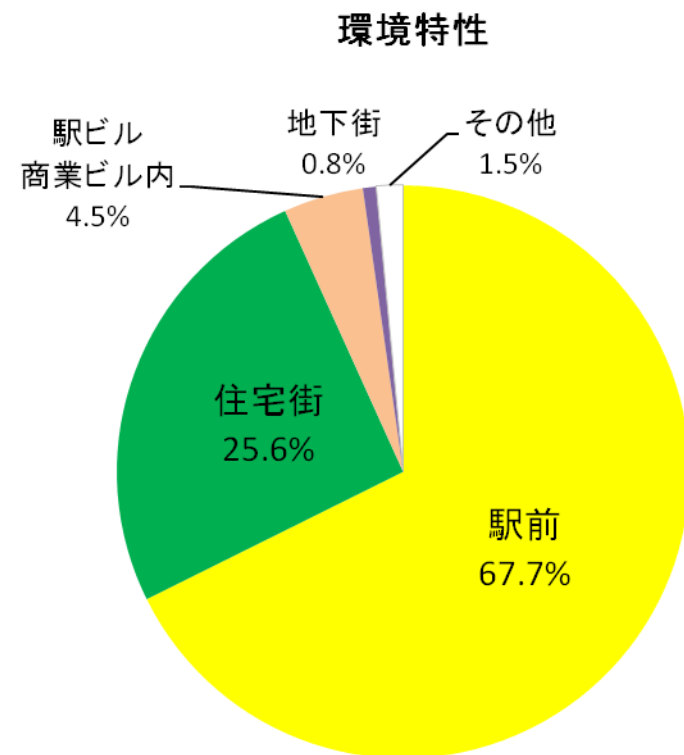
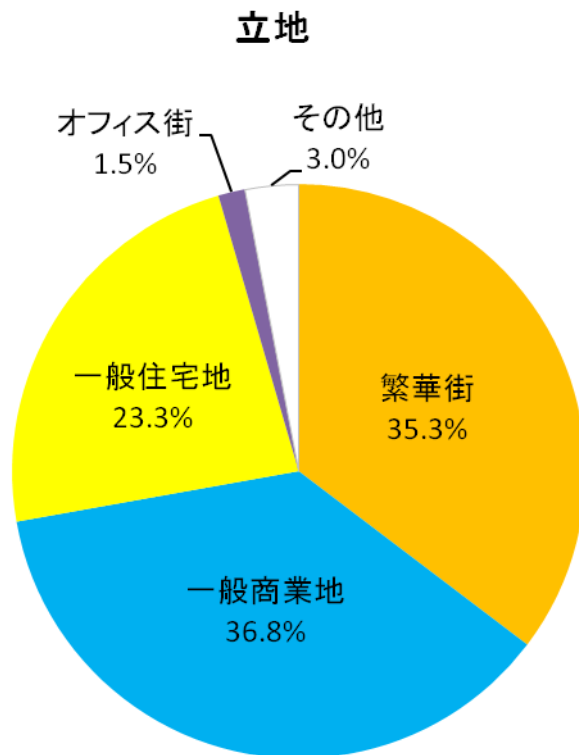
性別



年代



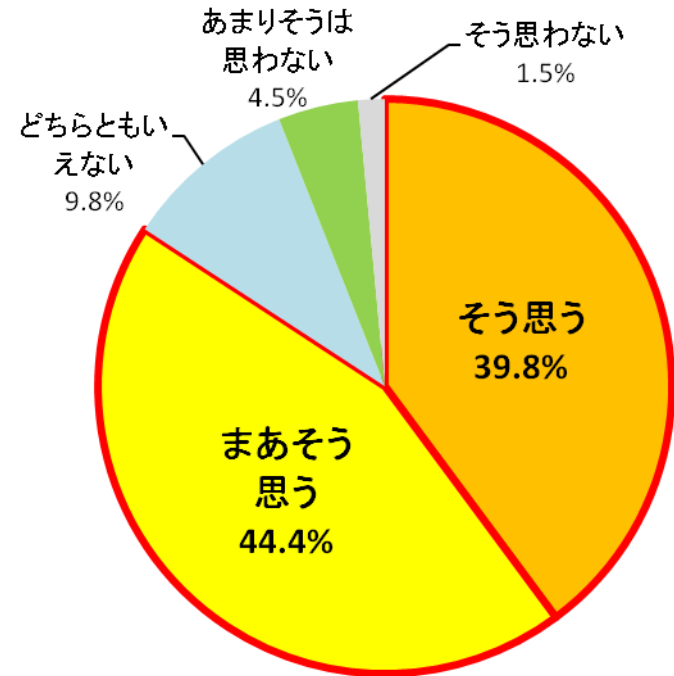
調査回答者の商店街環境



自分の商店街は
大切な場所である

84.2%

自分にとって自分の商店街は大切な場所か



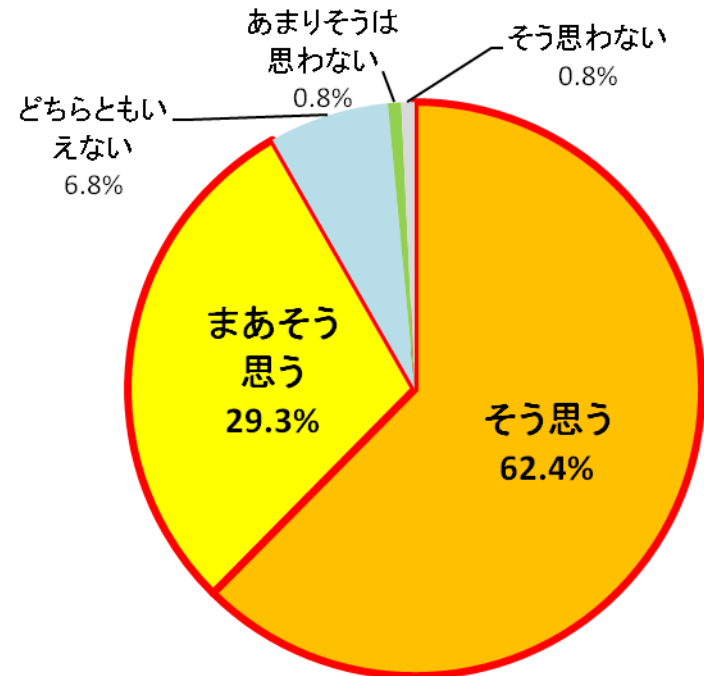
商店街の30年後への期待

自分の商店街は
30年後も

元気でにぎわっていて
欲しい

91.7%

自分の商店街は30年後も
元気でにぎわっていて欲しいと思うか



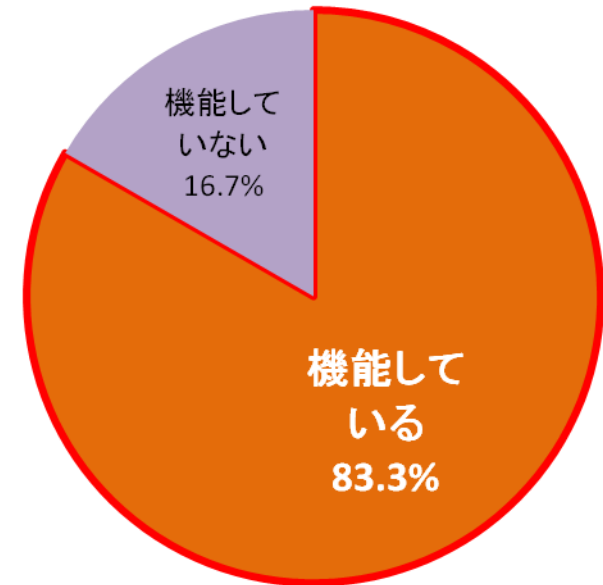
商店街の30年後 <ソフト> [機能]

30年後も商店街活動は
機能している

83.3%

30年後、商店街活動の機能予測

【対象】30年後、商店街は「あまりカタチを変えずにある」
「カタチを変えてある」の回答者・240名



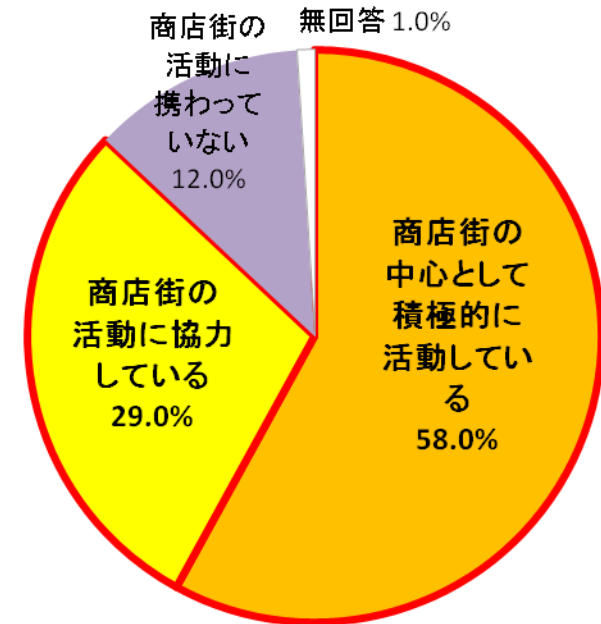
商店街の30年後 <ソフト> [活動]

30年後も商店街活動に
携わっている

87.0%

30年後の自分と商店街活動との関係

【対象】30年後、自分の商店街活動は「機能している」の回答者・200名



30年後の運営は

協力者と共同運営

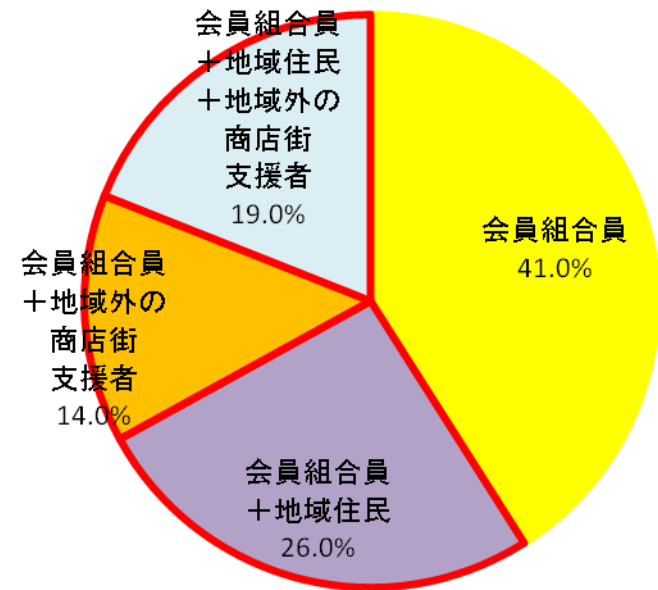
59.0%

会員・組合員だけの運営

41.0%

30年後、商店街が運営されている体制予測

【対象】30年後、商店街は「あまりカタチを変えずにある」「カタチを変えてある」の回答者(240名)の中で、「商店街活動が機能している」の回答者・200名



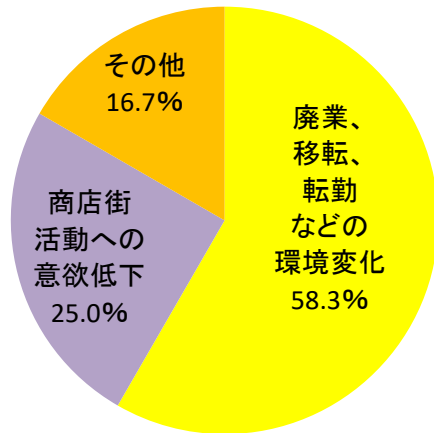
商店街の30年後 <ソフト> [非機能]

機能しない原因 活動を担う会員不足

70.0%

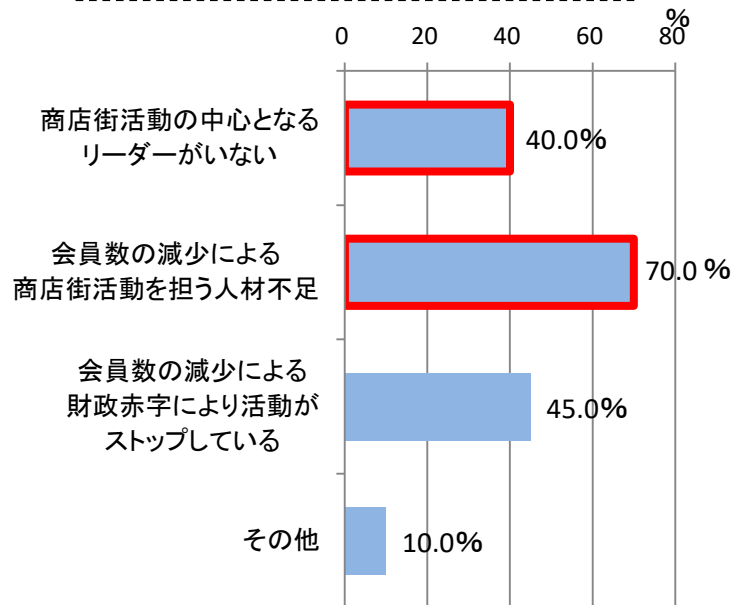
30年後、商店街活動に携わっていない理由

【対象】30年後、自分の商店街活動は「機能している」と回答したが、「自分は携わっていない」と回答した者・24名



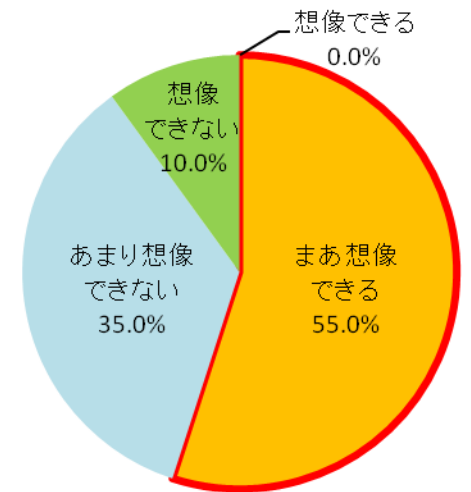
30年後、商店街活動は機能していないと思う理由(複数回答)

【対象】30年後、自分の商店街活動は「機能していない」と回答した者・40名



機能していない理由を解決できれば30年後も機能している姿が想像できるか

【対象】30年後、自分の商店街活動は「機能していない」と回答した者・40名

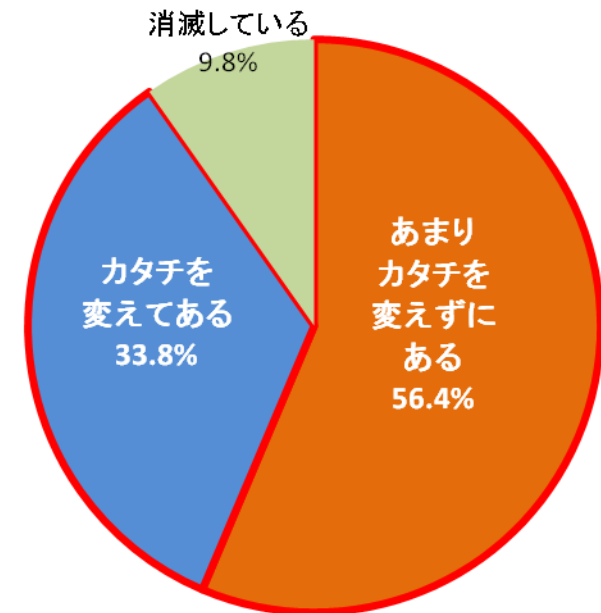


商店街の30年後 <ハード> [存続]

30年後も商店街は
存続している

90.2%

自分の商店街の30年後予測

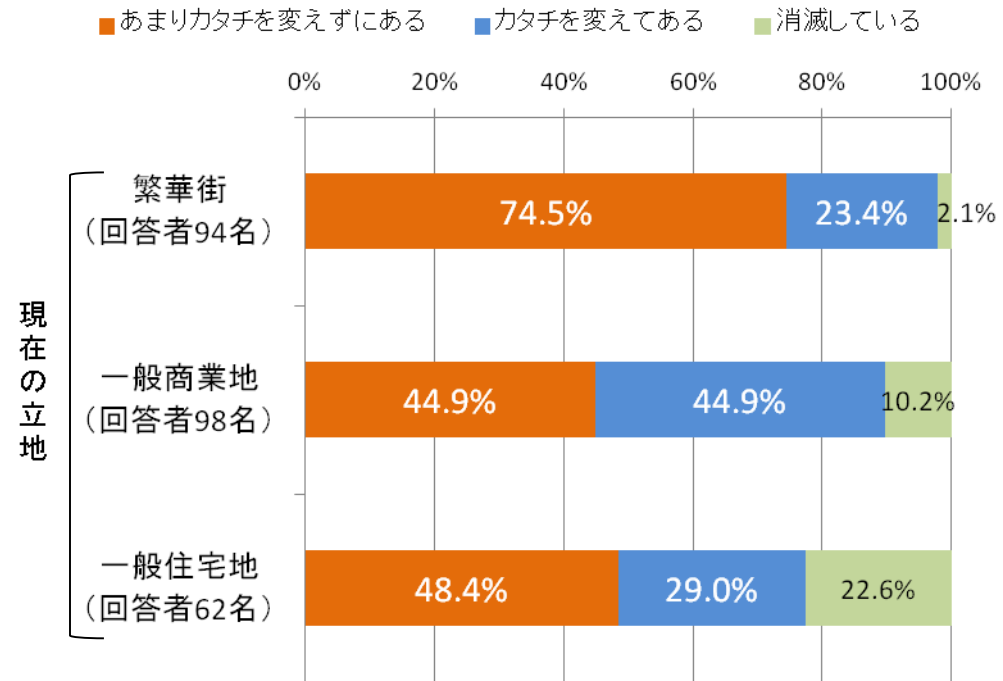


商店街の30年後 <ハード> [存続](立地別)

立地別存続率

繁華街	97.9%
一般商業地	89.8%
一般住宅地	77.4%

自分の商店街の30年後予測 <立地別>



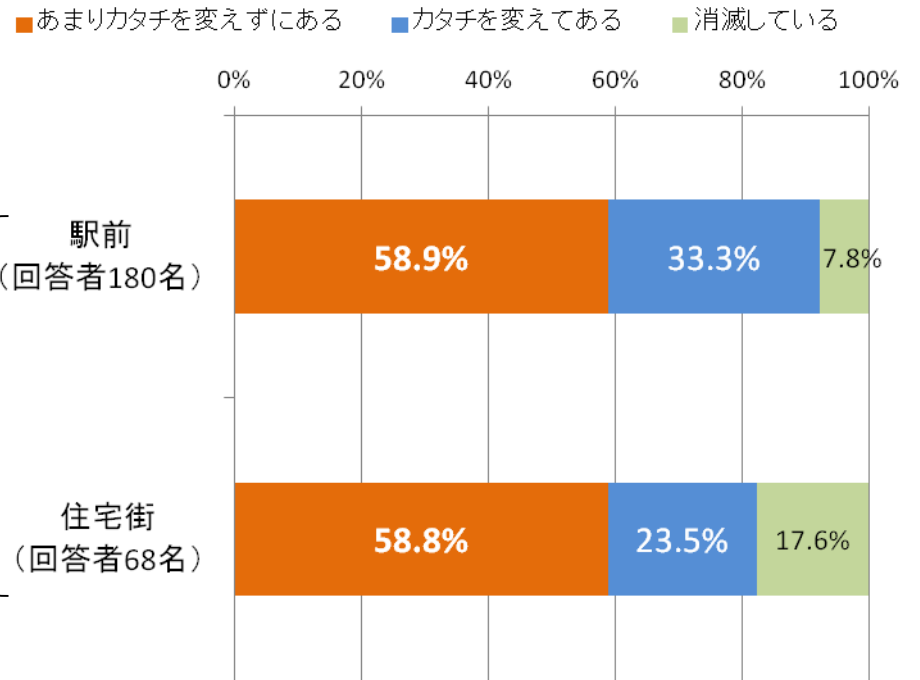
商店街の30年後 <ハード> [存続](属性別)

環境特性別存続率

駅前 92.2%

住宅街 82.3%

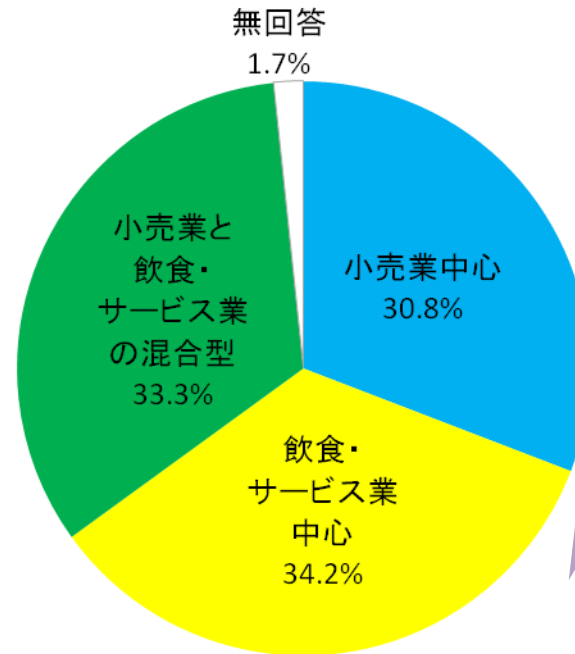
自分の商店街の30年後予測 <属性別>



商店街の30年後 <ハード> [業種]

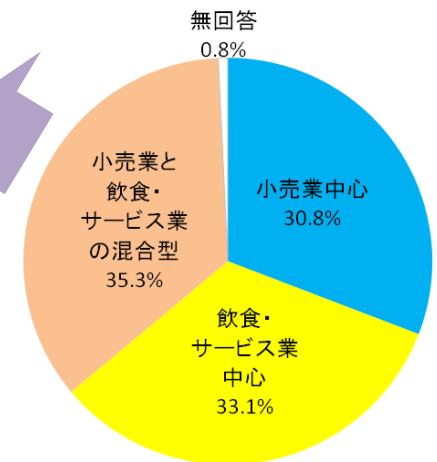
商店街30年後の業種構成(主力業種)予測

【対象】30年後、商店街は「あまりカタチを変えずにある」
「カタチを変えてある」の回答者・240名



現在の業種構成(主力業種)

【対象】全回答者・266名



存続する商店街の業種構成は
現在とほぼ同じ

商店街の30年後 <ハード> [消滅]

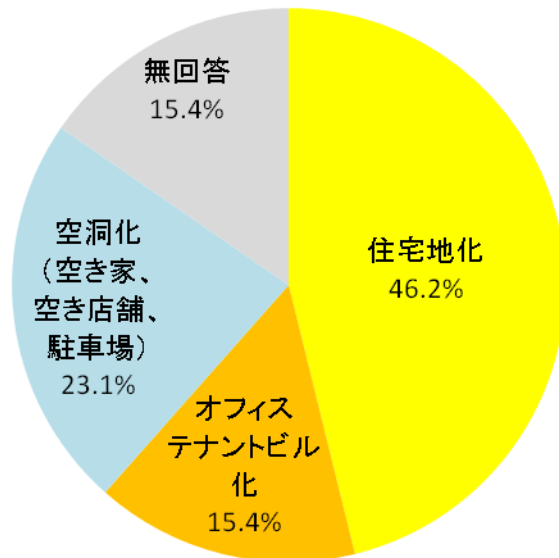
消滅理由

商売する企業や人がいない

69.2%

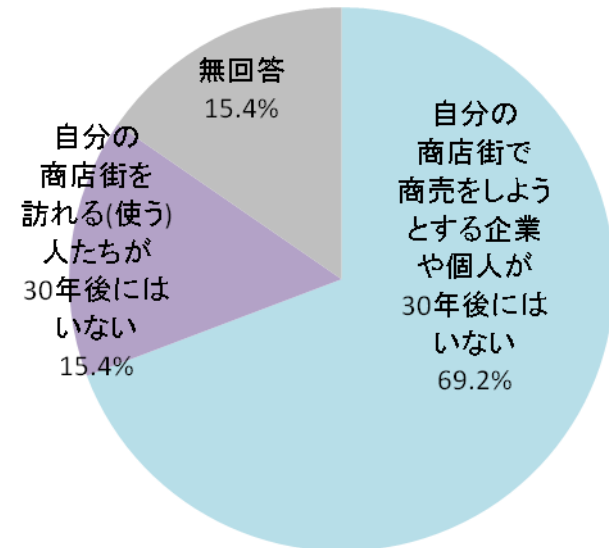
自分の商店街の30年後の姿

【対象】30年後に自分の商店街は「消滅している」の回答者・26名



30年後、商店街が消滅していると思う理由

【対象】30年後に自分の商店街は「消滅している」の回答者・26名



30年後の自分の商店街の姿

【変化する】

物売る小売業は完全にネット中心の社会になり、路面店は廃業。飲食、サービス業は人手不足をロボットで解決し存続。より地域に密着したサービスやイベントが行われる。	20代	男性
商店廃業後、アパートや建売住宅になってしまうケースが多い。その流れは止められない。住宅地に飲みこまれつつも、継続する店舗はあると思う。	20代	男性
身近なものは全てインターネットで買え商店街の機能と言うものがどんどん薄くなっていく。また商店街を使う人は年配の人が増えてきて若い人が後継者とならなくなってくる	20代	男性
人口が多いエリアは生活に必要な店舗は全て駅ビルに入る。人口が少ないエリアは住宅街や高齢者施設になる。	20代	女性
商店街+地域などの連携でニーズを的確につかんで栄えている。	30代	男性
物販は新宿、渋谷等への買い物。飲食、かくれ家的店舗、美容院、整体、デイサービス、不動産で街が成り立っており、顧客は地域住民中心。小学校協力。	30代	男性
飲食店などを中心に小さな地域コミュニティが色々なイベントを作り出し、商店街のにぎわいの中心にある。	30代	男性
大消費地(繁華街)から5分という立地はイートインまたはデユースの品しか売れなくなると思う。物販はネットに移行。今の店主はオーナーとなって商店街を運営していかななくてはいけないと思う。	30代	男性
物販は大型店以外はなくなっている。商店街の運営は元々そこで商店をしていたメンバーが不動産管理業として残っているので機能はしている。飲食店サービス業が中心の商店街。	30代	男性
インターネットがさらに普及し、ほとんどの人がネットで買い物をする	30代	女性
小売業と飲食・サービス業の混合型となりつつも、もっとネット社会が普及し、かつ高齢化していく為、来店型の店舗が減っていくと思います。	30代	男性
人口も少なくなり、働き手も少なくなっているため、人を介さないで商品が売れるものは商店街からはなくなっていると思う。	30代	男性
業種と業種の境界線が曖昧になる。例えば飲食店でありながら物販の小売も行っているハイブリットな店舗や、常にイベントを行い集客をしたり、イベントに絡めた独占製品や他にないものを扱ったりする。要はインターネットでは買えないもの、インターネットでは経験できないサービスや高級感を前面に出した商店街。それ以外は淘汰される。	40代	男性
物販はかなりの数がECに移行しているが、生鮮中心とした食品はネット物流では鮮度保持に限界があるため、いくらか店舗が残っている。30年後に残っている店はアフターケアを含めたカスタマイズサービスに富み、震災等の有事にコミュニティとして機能があるもの。	40代	男性
専門的(こだわりを持つ、特徴のある)小売店の割合が多く、ネット通販を行っている。店舗での販売は減る。飲食店は今より増えている。店舗は少ない(ほとんどないかも)だけど地域住民の方々が休日に商店街を使って、メルカリのように販売を行っていて、そういう方々が商店街の会員になり存在しているような気がする。	40代	女性
店舗数は変わらないかもしれないが、内容はほぼ入れ替わっているでしょう。観光地が近いので観光客相手に業務を変化させることに成功できた店舗は生き残れるかもしれないが、昔ながらの店は廃業するでしょう。	40代	男性

30年後の自分の商店街の姿

【変化する】

<p>商店街という以前に小売や個人経営で生き残れるかどうかが問題。また、キャッシュレス社会に対応できるかどうか大きい。国が商店街を残そうと思ってくれるなら、商店街こそまず初めにキャッシュレス化し、手数料を1%以下に設定することが必要で、これを自然競争に任せていたら、資本力により個人経営は消滅してしまうと思う。</p> <p>少子高齢化の社会になって、経済の原則に則った現在の競争社会のままでは、多くの敗者を生み出し、経済は発展しないだろう。街がにぎわうことでそこにコミュニティーが生まれ、人と人のつながりが生まれる。ネット社会や通販全盛期の今、人は便利を引き換えに暖かな繋がりを失ってはいないだろうか？人が集まる商店街がある。日本古来のイベントが受け継がれる、おせっかいな人間関係が生まれる、そんなことが当たり前でなくなった人間関係が希薄な国に、国民は愛情を抱くだろうか。国の根幹は今も昔も地域地域で形成されるコミュニティである。30年後も、商店街というコミュニティーが社会の基盤となっていることこそが、平和で豊かな国の証左であると思う。そのために出来る限りの努力をし、生き残るためにあらゆる手を今尽くさねばならない。</p> <p>話を戻すが、商店街がキャッシュレスに見事に対応し、共同配送などの新サービスを確立し、地域のコミュニティーの中核としてイベントや様々な役割を担う存在であるなら、30年後も商店街は十分に生き残れるはずである。しかし現状にあぐらをかいていけば、ネット通販のみの社会になり、商店街や個人経営の店舗など消滅していることだろう。デイサービスや整体院だらけの商店街に未来はない。様々な職種が集まってこそ商店街は成り立つので、出店に関する規制やルールに構築があってもよいのではないか。バランスのとれた商店街にするには、行政の介入が不可欠だと私は思う。</p>	40代	男性
複数の商店街が協力し、地域全体で人が集まる地域となっている。商店・住民・オフィスが一体となっている。	40代	男性
物販店は少なくなり、飲食・サービス業が中心。イベントも夏、地域のまつりと一緒に行くことしか出来ない。	40代	男性
飲食、サービスを中心に、駅近くにコンパクトに集合。学校地域と連携してイベントを行う。	40代	男性
高齢者社会により、自分で食事をするよりも外食する世帯が増加し、さらに飲食業が多くなる。	40代	男性
飲食店以外はほとんど無い状態になっている！	40代	男性
魅力ある個店は残り、物販は淘汰されている。専門性の高い商店は残っていると思う。	40代	男性
自営業、家族経営の店舗は廃業が増え、賃貸しの店舗が多数になると思われる。	40代	男性
商店街どころか小売店がなくなると思う。コンビニだけで十分になってしまいそう。	40代	女性
物販店は廃業。(但しお土産屋だけは存在する。)飲食、薬局、サービス業が中心となる。観光地なので人はたくさん来る。賃料が上がり続けているので大手チェーンでないとお店を借りられない。	40代	女性

30年後の自分の商店街の姿

【現状維持・発展型】

今と変わらず地域の人に愛された商店街である。	20代	男性
30年後は私の子供と私とで買物を今まで通りしていきたいので今まで通りがよい。	30代	女性
いつもニコニコ現金払いが復活する、そんな商店街を楽しみにしております。	30代	女性
ネットが普及しても実物を手にとって選ぶ楽しさはかえがたいものなので実店舗は必要であって、店舗は努力が必要。	30代	女性
今とあまり変わらない形態で存続していると思う。	30代	男性
下町の商店街なのでこれからも今のままでいると思う。	30代	女性
今と変わらず、今までの歴史も大切に、新しいものも取り入れてにぎわってほしい。	30代	女性
今と変わらず家族連れが週末は集まり、賑わいがある。	30代	男性
商店街独自のイベントで盛り上がっている。	30代	女性
駅前という立地から人の流れは今とかわらずあると思います。ただ、地元の商店はゼロに近いと思います。	30代	男性
基本的姿はあまり変わらない。現在の物販店と違う物販店が(後継ぎ問題の為)営業していると思う。飲食、サービス業の割合が増えている。	40代	男性
今のまま古き良き商店街は残っていると思う。	40代	女性
昔ながらのお店がある。駄菓子屋もある。	40代	男性
歴史ある街の中心に位置する商店街。今も昔も、これから30年後も変わらず、にぎわい続けていると思う。	40代	男性
シャッター通りにならず、人の往来がある事を願います。	40代	男性
都の中でも恵まれた立地に有る商店街なので、人の往来は今とそれほど変わりなくあると思います。	40代	女性
大手(居酒屋・スーパー)撤退。街づくりで駅ビル、公園でにぎやかに。イベントは自治会、町会、学校PTAの協力で年に3回(さくら祭り、サマーフェスティバル、音楽祭)実施されている。	40代	男性
個店の強みを活かした店舗を運営している店同士を広範囲でつなげていきたい。そこからイベントやPR活動を行っていく。	40代	男性
夏まつり、獅子舞、おみこし、だしなど、伝統的なものは残したいし、そのイベントで盛り上がらせる。街自体を老人、子どもが歩いて安全な道を作る。	無回答	無回答